

政治・国際

経済・雇用

社会・スポーツ

科学・環境

文化・エンタメ

Journalism

法と経済 A J

本 雑誌 映画 音楽 美術 舞台 テレビ 芸能ニュース 漫画・アニメ 韓流 神保町の匠



論座 > 文化・エンタメ > 記事一覧 > 記事

文化・エンタメ

## スプラッシュ・マウンテンで問題視された『南部の唄』はまた公開すべきだ

### 「過去の問題作」に対処する米ディズニー

赤尾千波 富山大学人文学部人文学科教授(アメリカ文学・文化専攻)

スプラッシュ・マウンテン | ディズニー | 南部の唄 | 黒人差別 | 2023年04月12日 BLM



世界各地のディズニーランドにある人気アトラクション「スプラッシュ・マウンテン」が、フロリダ州のマジック・キングダム・パーク(ウォルト・ディズニー・ワールド)で今年1月に閉鎖、次いでカリフォルニア州のディズニーランド・パークでも閉鎖される見通しだ。ディズニー・ファンの中には、「何が問題なの?」といぶかしがる人も多い。実際のところ、アトラクション自体を問題視する声はほぼ無い。

閉鎖の理由は、モチーフとなるディズニー映画『南部の唄』(1946)が人種差別的ということだ。この映画は公開当時から批判され続け、現在は公開と販売を中止している曰くつきの作品である。なぜ今になって問題視されるのか。こうした「過去の問題作」への適切な対処をめぐる動きを追ってみよう。



### 編集部から

#### 「論座アーカイブ」開設のお知らせ

2023年07月21日

#### 論座の更新を終了いたしました サイトは7月まで閲覧できます

2023年04月26日

#### コメント投稿サービス終了のお知らせ

2023年04月21日

### 最新ランキング 週間ランキング

-  渡辺麻友の電撃引退に納得。彼女は「アイドルのプロ」だけじゃなかった
-  死後の世界をめぐる仏教と人々の“ズレ”～人は死んだらどこへ行くのか?
-  新潟親子遭難死は救えた命かもしれない
-  手記・上高地でクマに襲われた私の経験
-  在NY、新型コロナ感染体験記——「軽症」だったが初めて死を意識した
-  [1] 冷戦下、断絶と疎外の社会に変革を告げた～「サウンド・オブ・サイレンス」
-  事故原発に首相、作業員「怒ってるよ、菅直人、何しに？」
-  ダムに沈んだ村は後まで住んでいた



## 奴隷制度を「美談」にさせる『南部の唄』

映画で問題視されたのは、舞台設定と黒人の人物像である。

舞台は南北戦争直後のジョージア州、つまり、奴隷解放後の南部と思われる。現実を振り返ると、奴隷解放後、無一文で放り出された元奴隷の黒人たちは、人種差別が強く残る南部において奴隷時代に輪をかけて厳しい生活を強いられた。また、奴隷による労働力を失った白人農園主も、贅(ぜい)を尽くした生活から一変、困窮していたはずである。

しかし、映画では元奴隷とおぼしき「リーマスおじさん」は、お屋敷に住む金持ち白人たちと仲良く対等に接して、まさに悠々自適、なぜか全員が豊かでハッピーというユートピア的生活が描かれているのである。あり得ない世界であり、いかにも奇異である。


黒人の人物像はどうか。主人公リーマスは「何もかも申し分なく、動物も人間も仲良く楽しく暮らしていたころの話をしてあげよう」と言って、一昔前、つまり奴隷だったころのウサギ君やキツネ君との思い出話を、子どもたちに話す。そして、「幸せな暮らし」がテーマの曲「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」を歌い、昔を懐かしむのである。




映画『南部の唄』  
<https://en.wikipedia.org/wiki/File:Remuskids.jpg>

リーマスには、明らかに「白人に尽くす純朴な黒人男性」アングル・トムのイメージが重なる。さらに、お屋敷でメイドとして働く「テンピーおばさん」(『風と共に去りぬ』で女性奴隷を演じてアカデミー助演女優賞を受賞したハッティ・マクダニエルが演じる)は、「太っていて陽気で、白人の子どもの世話をこよなく愛する」乳母(マミー)のステレオタイプそのものである。白人少年ジョニーのお供を命じられる黒人少年トビーは、粗末な衣装に身を包んだいたずらっ子で、白人少年の上品なふるまいや身だしなみを引き立たせるピッカニーニーの役どころである。

これら名前のついている3名の黒人人物に加え、毎日集団で農場に行き、夕暮れ時に戻ってくる黒人労働者たちもまた「ここが我が家!」「ふるさとで暮らせることに感謝!」と歌い、嬉々として白人のために働く。こうした黒人の登場人物は、全員ハッピー・ダー

9  民主党政権が失敗に終わった本当の理由～悪いのは「マニフェスト」ではない

10  AIが感情と意識を持つことは可能か

もっと見る

キー(おめでたい「くろんぼ」)という悪名高いステレオタイプで描かれているのである。

この設定と人物の描き方が問題なのは、事実を白人に都合よく書き換え、それを誇張するものだからである。のちの時代に観た人が、奴隷制度は「のんきな黒人が優秀で温厚な白人の庇護の下で楽しく働いていた」良い制度なのではないか、制度廃止後も人種を超えて人々は仲良く豊かに暮らしていたのではないかと誤解させるものとなる。まるで恥部を「美談」にすり替えるが如きではないか。

こうした問題含みの映画でありながら、『南部の唄』は「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」がアカデミー歌曲賞を受賞し、黒人男優が初めてオスカーを受賞した作品として広く知られている。だが、実のところは主役のリーマスを演じたジェームズ・バスケットは、主演男優賞ではなく、「黒人に主演男優賞はどうか」と渋る声を受けて、アカデミー特別賞(現・名誉賞)を与えられて終わったのである。

次は→「ブラック・ライヴズ・マター」と「ストーリーズ・マター」

先頭 前へ 1 2 3 次へ 末尾

## 関連記事



政治・国際 **「奴隷解放記念日」を国の祝日にした米国の希望と亀裂**

片瀬ケイ 2021年07月14日



社会・スポーツ **ジョージ・フロイド氏殺害から1年に思う～黒人の命が重くなる日は来るのか**

田村明子 2021年05月28日



文化・エンタメ **浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する——「ブラックフェイス」は、“忌まわしき過去の象徴”**

赤尾千波 2018年02月06日



文化・エンタメ **続・浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する**

赤尾千波 2018年02月07日



文化・エンタメ **ディズニー映画『ムーラン』はクレジットの謝辞より作品全体が問題**

古賀太 2020年09月18日

筆者





**赤尾千波 (あかお・ちなみ)** 富山大学人文学部人文学科教授(アメリカ文学・文化専攻)

津田塾大学学芸学部英文学科卒。筑波大学大学院修士課程地域研究科、インディアナ大学大学院を経て、筑波大学大学院博士課程文学・言語研究科途中退学。岐阜大学教育学部助手を経て、現職。専門はアメリカ文学・文化。著書に『改訂増補版 アメリカ映画に見る黒人ステレオタイプ——『国民の創生』から『ブラックパンサー』まで』(富山大学出版会)など。本書関連資料：[富山大学出版会HP](#)、[研究室HP](#)

※プロフィールは、論座に執筆した当時のものです

[ページトップへ戻る](#)

#### 朝日新聞社から

[会社案内](#)  
[CSR報告書](#)  
[採用情報](#)  
[記事や写真利用案内](#)  
[新聞広告ガイド](#)

#### デジタル事業から

[デジタルサービス一覧](#)  
[携帯サービス](#)  
[Astand\(コンテンツ販売\)](#)  
[法人向け配信](#)  
[写真の購入案内](#)  
[記事データベース案内](#)  
[朝日ID](#)

#### グループ企業

[朝日新聞出版の本](#)  
[朝日新聞出版\(AERA dot.\)](#)  
[朝日インタラクティブ](#)  
[朝日学生新聞社](#)

#### 各国語サイト (News in various languages)

[The Asahi Shimbun Asia&Japan Watch \(ENGLISH\)](#)  
[Asahi Weekly \(ENGLISH/JAPANESE\)](#)  
[ハフポスト日本版 \(JAPANESE\)](#)  
[CNN.co.jp \(JAPANESE\)](#)

[サイトマップ](#) | [サイトポリシー](#) | [利用規約](#) | [特定商取引](#) | [web広告ガイド](#) | [リンク](#) | [個人情報](#) | [著作権](#) | [お問い合わせ](#)

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

